

条幅規定

師範正 小野 清舟

長鋒の羊毛筆であろうか、落筆高く遠勢の効いた筆勢で現代性豊かな木簡風作品。手慣れた表現で無理なくまとめているが、少し破断的な線質も加わると個性が光ると思う。伸び代十分の作家。

条幅随意(臨書)

成家 阪井 浩子

抑揚を効かせた弾力のあるシャープな線ではあるが、欧陽詢と欧陽通の中庸を感じさせる臨書となったようだ。古典の線を増やし、消化し、栄養として作品に年輪を増やし、幹の太い作品に期待。

条幅随意

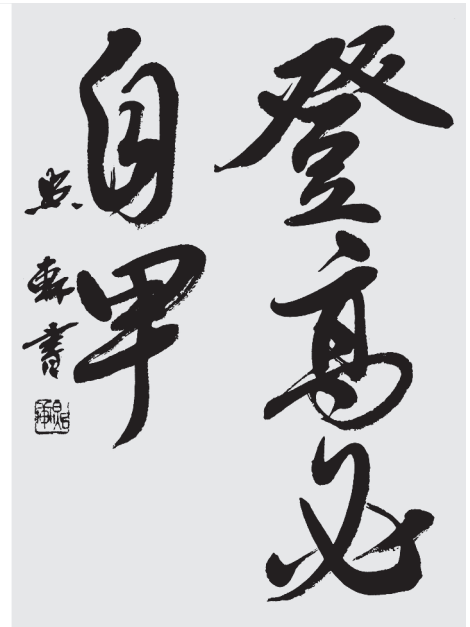
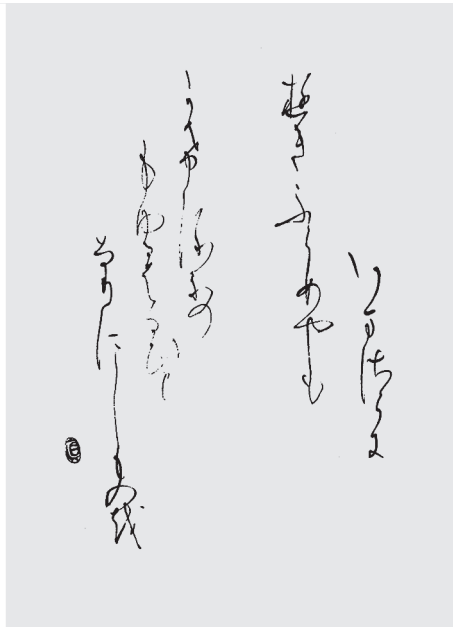
師範 松永 美貂

墨色は今一歩でしたが、手本をよく観察し、バランスよく纏めた腕は流石師範。永年の経験値の積み重ねが実った一作。この毎月の競書の中から新しい物を試行錯誤し、自己の世界の確立を目指す。

半折 ½横

師範正 佐田 薫春

感性豊かに大胆な筆致と思い
 きりのよい運腕で帛書や敦煌木
 簡を想わせ、作品に存在感を与
 えている。ただ、線種が少ない
 のが残念。古典の中から線種を
 増やし、年輪の多い、幹の太い
 作品に期待する。



半紙規定

師範 谷山 照軒

穂先を効かせながらも、おおらかで落ち着きのある用筆と余白の美しさが紙面を大きく見せている。転折の滑らかさ、呼吸の長さもあり存在感が光っている。感性は年を取らない。

半紙随意

師範 副島真知子

上下運動の効いた迷いのない筆致で、リズムに乗り、清く澄んだ筆線が流麗に流れ、明るく美しく充実感に満ちた作品となっている。上級者ならではの風格が光っている。

半紙随意(臨書)

師範正 中野 清泉

臨書を重ねること、字形のとり方や筆遣いの基本や空間構成などが分かってきます。それが創作技術の向上のヒントにもなります。古典は書家にとっての血肉となる栄養素です。

小六
玲奈
の将来の夢

二年野田
祐佳
い
あ
ん
明
心
る

二年野田
祐佳
一

比嘉
夏
希
将来の夢

中一
佐々木
更
大切な仲間

優
菜
い
明
心
る

小三
辻
ことえ
水玉

比嘉
夏
希
の夢

精神の友好の
鍋
侑優

五年内田
珠々菜
希望

水玉
丞心

ふじいさくらこ
ゆめ

学生部条幅 (1/4)

小六 準五段 比嘉 夏希

丁寧な運筆で形良く、とても明るく書けています。名前もしっかりと練習が出来ています。この調子で中学生になっても頑張ってください。

野田 祐佳

小二 準五段

さすが上位有段者のすばらしい作品です。名前もよく練習ができています。日頃の熱心な練習の成果だと思えます。

辻 琴絵

小三 準初段

「ハライ」「ハネ」のむずかしい筆づかい、字形とも立派な作品です。これからは、名前の練習にも力を入れてがんばって下さいね。

大坪 丞心

小三 準四級

伸びやかな線にみ力のある作品です。上位有段者に負けない力の持ち主です。名前の練習にも力を入れて下さい。期待大！

浅見 あん

小四 準四段

力強い線で堂々と書けた元気のよい作品です。さすが上位有段者ですね。今後は、筆を軽く握るとさらに良くなると思います。

富田 優菜

小四 二段

伸びやかで明るい線で形良く書けています。全体のバランスも良く、名前もしっかりと練習のできたすばらしい作品です。

内田 珠々菜

小五 六段

お手本を良く見て、形良く書けています。名前もすばらしい。今後は、線に勢いが出ると更に良くなると思います。期待大。

前田 玲奈

小六 準特待生

漢字と平仮名のバランスが良く、明るく伸びやかに書けています。「特待生」を目標としてこれから頑張ってください。

佐々木 更

中一 特待生

お手本と見間違えるほど完成度の高い素晴らしい作品です。名前も見事！今後は、一般部への挑戦をおすすめします。

川鍋 侑優

中二・三 特待生

とても難しい課題でしたが、全体のバランスが良く、さすが「特待生」の作品です。今後の成長がとて楽しみます。

硬筆部最優秀作品

(3月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

<p>どんなものでも、物理的には音は出るものである。しかし、正規の音程レベルにははるかに及ばないといえ、とにかくクモの糸でバイオリンの音が出たのは感動であった。</p> <p>氏名 大澤 菜々子</p>	<p>病院もだれがいるか分からない場所だ。名前も通院していることも、大切な個人情報である。他の人に知られないようにするほうがいいだろう。</p> <p>氏名 大石 芽衣紗</p>	<p>外はずい星で、月も出ていた。とうげの下りの坂道は、一面の真っ白いしもで、雪みたいだった。</p> <p>氏名 中村 沙也加</p>	<p>ねる まえには、かならず、いった。「エルフ、ずうつと、大すきだよ。」</p> <p>氏名 八嶋 里彩子</p>
<p>メダカは絶滅危惧種になっている。川の中をのぞいても、お遊戯は見られない。命盛んな季節である。ありふれた者が、ありふれて存在する。尊さを、小さき者のメッセージとして心に刻む。</p> <p>氏名 鹿 毛 純光</p>	<p>海中に棒になって差しこんだ光が、波の動きにつれ、かがやきながら交差する。耳には何も聞こえなかったが、太一はそう大な音楽を聞いているような気分になった。</p> <p>氏名 石川 陽咲</p>	<p>空は暗くなり、風も冷たくなりました。雪は、女の子の赤いセーターの上に、白いもようを付けました。</p> <p>氏名 安田 美結</p>	<p>手紙を読んで思ったことや、あいてのいいところをカードに書こう。</p> <p>氏名 八嶋 里彩子</p>
<p>旅の帰途、福岡空港から高速バスに乗り、黒崎インターを過ぎ、しばらく見渡す夜景は息を飲むほど美しい。行き交う車の赤い尾灯も、とてもきれいだ。函館、神戸などの夜景も見てきたが、北九州が一番素晴らしいと思う。先行者、不安な今の時代に、自然の美や景色に、癒やされながら、日々、安寧に過ごせ、幸せに感謝したい。</p> <p>氏名 原田 雪子</p>	<p>どんなものでも、物理的には音は出るものである。しかし、正規の音程レベルにははるかに及ばないといえ、とにかくクモの糸でバイオリンの音が出たのは感動であった。</p> <p>氏名 梶原 千聖</p>	<p>空は暗くなり、風も冷たくなりました。雪は、女の子の赤いセーターの上に、白いもようを付けました。</p> <p>氏名 大庭 結愛</p>	<p>外はずい星で、月も出ていた。とうげの下りの坂道は、一面の真っ白いしもで、雪みたいだった。</p> <p>氏名 久保 桜子</p>

<p>大澤 菜々子 中学 準六段 お手本と見間違ふほど綺麗に書いています。書き始めから名前まで集中し、安定感のある作品に仕上げた点は、見事です。</p>	<p>大石 芽衣紗 小五 準六段 一字一字お手本をよく見て、ペンを上手に使って、一生けん命にきれいに書いています。さすが上位有段者の作品です。</p>	<p>中村 沙也加 小三 二級 ペンをとてもじょうずに使ってお手本をよく見つけたすばらしい作品です。このちようしでこれからもがんばってね。</p>	<p>梶原 美織 小一 5級 一字一字お手本をよく見てとてもきれいに、ていねいに書いています。名前もじょうずに書けた立っばなさくひんです。</p>
<p>鹿 毛 純光 一般 師範 気のもつた強く迷いのない線、バランス良く、形良く書いています。実用書から芸術書まで、腕の確かさを感じます。</p>	<p>石川 陽咲 小六 準特待生 お手本の細かな所までよく見て、とても丁寧に形良く書いています。頂上までもう一步！この調子で頑張ってください。</p>	<p>安田 美結 小四 三段 お手本と見間違ふほど、お手本を良く見て形よくていねいに書いています。名前もよく練習のできた立っばな作品です。</p>	<p>八嶋 里彩子 小二 準3級 マスいっぱい元気よく、とてもじょうずに書いています。むずかしい漢字もよく練習のできたすばらしい作品です。</p>
<p>原田 雪子 一般 準師範 文字の大小、抑揚の変化が自然で、流れの美し、明るい作品です。この調子で師範を目指し、頑張ってください。期待しています。</p>	<p>梶原 千聖 中学 準特待生 勢いのある線、一字一字形良く、しっかりと書いています。下部を書く時に紙を少し上げると行の中心が良くなると思います。</p>	<p>大庭 結愛 小四 準2級 書き始めから名前まで、集中してとても上手に書けましたね。ペンの使い方もすばらしい。今後、期待大！です。</p>	<p>久保 桜子 小三 準初段 書き始めから名前まで、お手本をよく見て伸びやかに書けましたね。さすが有段者の作品です。今後、更に期待しています。</p>